

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川県立音楽堂		
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘9番地の2		
サイトURL	http://www.kanagawa-ongakudo.com/		
根拠条例	神奈川県立音楽堂条例		
設置目的(設置時期)	県民の音楽芸術の振興及び福祉の増進を図るため (S29. 11. 4)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川芸術文化財団		
指定期間	H23. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	文化課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p><管理運営等の状況> 開館から60周年目を迎えた本年は、周年事業として、11月に「神奈川県立音楽堂 還暦！記念週間」、2月に「開館60周年記念特別企画 音楽堂パロックオペラ」など、施設の特性を生かした質の高い公演を例年以上に実施し、年間で17万人の方が利用した。 また、子ども・青少年向けの体験型事業として、小中学校へのアウトリーチ公演や、プロの演奏家と直接触れ合う新たなワークショップの実施するなど、文化芸術の鑑賞機会の提供に努めた。 施設管理の面では、施設・設備の老朽化や、バリアフリーへの対応が課題となっている中で、歴史的な建造物としての特性を活かしつつ、開館時間を延長するなど利用者のニーズに配慮した、きめ細やかな対応を行うなど、提案どおりの実績をあげている。</p>
<p>S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要</p>	<p><利用状況> 60周年事業の実施や、メディアを活用した広報の実施により、利用者数は目標対比で12.2%のプラスとなったためS評価となった。なお、前年対比では2.2%のプラスとなった。</p> <p><利用者の満足度> 12月に実施した。「満足」の回答割合が83%となったため、A評価となった。(回収率は、利用者に直接手渡しで配布していることもあり、昨年度並であった。)</p> <p><収支状況> 収支の状況は、年間を通じて計画通り執行されており、A評価となった。</p> <p><苦情等> 指定管理者に起因する苦情等はなかった。</p> <p><事故・不祥事等> 利用者がガラス等を破損する事故が発生したが、二次被害を防ぐための措置を行い速やかに修理するなど適切に対応した。</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	6月24・27日、7月9日、8月12・16日、9月11日、11月4・5・8・9・22日、12月14日、1月13日、2月28日、3月1・17日	
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設維持：開館日・時間についての柔軟な対応	・休館日の臨時開館を8日間、午前9時以前の利用を57日間、午後9時以降の利用を30日間行う等、利便性に配慮した柔軟な対応を行った。	
施設維持：歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各種定期保守点検を的確に実施。 ・4年前より継続して実施している客席の座面、背パットの交換により座り心地の向上を図り、26年度を以って累計700席余りが完了した。(26年度実施分：座面236席、背パット87席) ・その他、26年度には以下の修繕を実施した。 ・ロビー照明LED化工事 ・非常用蓄電池更新工事 ・特別室扉改修工事 ・リハーサル室扉改修工事 ・2～3F南階段付近、給湯室、第3控室カーテン設置工事 ・1F控室廊下及び階段カーペット張り替え工事 ・雨漏りやトイレ詰まり、空調機の不調など細かな施設設備の不具合についても速やかに対応し、利用者・来館者に快適な空間を提供できるよう職員一同対応した。 ・利用の大半を占めるアマチュアの利用者に対する細やかなサポート等を通し、高い利用率を維持することに努めた。 ・平成26年11月4日に開館60周年を迎えた。年度を通して開館60周年キャンペーンを行った。記念ロゴを配したトートバッグの販売等も好調であった。 	

事業：木のホールの音響と空間を活かした音楽芸術活動及び鑑賞機会の提供

【4月】

・共催公演「第37回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会」入場者数延700人、「第30回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門本選」入場者数延べ700人、「ヴァイオリン部門本選」入場者数延べ150人。

【5月】

・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ第1回」入場者数591人。

【6月】

・ヴィルトゥオーゾ・シリーズ第11弾「イザベル・ファウスト&アレクサンドル・メルニコフ デュオ・リサイタル」入場者数568人。
・共催公演「第57回神奈川県合唱祭」入場者数延べ3,800人、「ダンスカナガワフェスティバル」入場者数900人。

【7月】

・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ第2回」入場者数745人。

【8月】

・「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」入場者数536人。
・共催公演「第81回NHK全国学校音楽コンクール神奈川県コンクール」参加人数延べ約5,200人、「第56回神奈川県合唱コンクール」参加人数延べ2,000人。

【9月】

・音楽堂アフタヌーンコンサート「山田和樹指揮 東京混声合唱団 特別演奏会」入場者数953人。
・共催公演「第24回神奈川オペラフェスティバル2014 第1夜 オペレッタ・ガラコンサート『あなたに贈るオペレッタの花束』」入場者数400人。

【10月】

・共催公演「第54回音楽堂・おかあさんコーラス」入場者数延べ3,600人

【11月】

・神奈川県立音楽堂 還暦！記念週間「音楽堂で聴く聲明 四箇法要一花びらは散っても花は散らない」入場者数694人。
・神奈川県立音楽堂 還暦！記念週間「大野和士のオペラ・レクチャーコンサート」入場者数839人。
・神奈川県立音楽堂 還暦！記念週間「音楽堂建築見学会特別編」入場者数365人。
・神奈川県立音楽堂 還暦！記念週間「60周年記念オーケストラ・コンサート」入場者数481人。
・ヴィルトゥオーゾ・シリーズ第12弾「ナタリー・シュトゥッツマン コントラルト・リサイタル」入場者数657人。
・共催公演「合唱の殿堂 県立音楽堂」還暦記念演奏会 ～世代を超えて合唱をつなぐ音楽堂～ 入場者数990人、「第29回ヨコハマコンペティション（神奈川芸術舞踊祭 No. 101）モダン・クラシック部門」入場者数延べ2,000人、「第48回神奈川県名流三曲祭」入場者数延べ400人。

【12月】

・第49回クリスマス音楽会「メサイア」演奏会 入場者数818人。

	<p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「第24回神奈川オペラフェスティバル2014 第2夜 オペラ『魔笛』」入場者数785人。 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館60周年記念特別企画 音楽堂バロックオペラ ヴィヴァルディ作曲オペラ「メッセニアの神託」全3幕 字幕付原語上演（日本初演）入場者数833人 ・共催公演「第38回神奈川県合唱フェスティバル」入場者数延べ900人、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ第3回」入場者数593人。 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館60周年記念特別企画 音楽堂バロックオペラ ヴィヴァルディ作曲オペラ「メッセニアの神託」全3幕 字幕付原語上演（日本初演）入場者数769人 <p>*公演の制作過程や当日の様子などをFacebookで情報提供。NHK横浜放送局FM番組等にプロデューサーが出演するなどして、県民への広報にも努め、多くの方に鑑賞頂いた。</p>	
<p>事業：子ども・青少年へ音楽体験を提供する企画を積極的に実施</p>	<p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラシックな休日をin音楽堂」のチケット購入者を対象にリハーサルを公開。入場者数100人。※一部2月実施 <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」の関連アウトリーチとして、「オーケストラがやってきた！In真鶴町」を実施。出演：金聖響（指揮）、神奈川フィルハーモニー管弦楽団。まなづる小学校児童、教職員、保護者ら計300人が鑑賞。 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」の関連企画として、バックステージツアー&ミニ・コンサート（参加者179名）、公開リハーサル&指揮者との交流ワークショップ（参加者41人）、英国人音楽家によるワークショップ「みんなでいっしょに曲を作ろう」（参加者68人）、公開リハーサル（参加者85人）、公開ゲネプロ（参加者66人）、ホワイエでの楽器体験コーナー、終演後の出演者との交流会、4日間にわたるジュニア・スタッフ養成講座（参加者20人）を実施。 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽堂「メサイア」未来プロジェクト（参加者70人）※一部12月実施 <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽堂子ども版建築見学会」入場者数172人。 	
<p>事業：外部資金の確保</p>	<p>外部資金の獲得状況</p> <p>1. 法人賛助5,600千円、個人賛助180千円、広告協力550千円、チケット購入協賛112千円 ※財団全体・年間での実績値。 個別協賛300千円（こどものためのアウトリーチ）</p> <p>2. 助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁劇場・音楽堂等活性化事業（活動別支援事業）36,469千円 ・芸術文化振興基金（地域文化施設）1,800千円 ・一般財団法人地域創造（創造プログラム）10,000千円 	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	<p>≪評価の目安≫目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。</p>
S	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	156,922	165,927	167,682	171,344
対前年度比			101.1%	102.2%
目標値	[目標値設定根拠]	151,100	151,100	152,700
目標達成率	経営改善目標	109.8%	111.0%	112.2%

[参考：最大利用可能人数]

	ホール					合計
定員	1,054					
年間利用可能日数	298					
最大人数※1	314,092	0	0	0	0	314,092
稼働率	86.57%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート (2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート	「満足」が10件、「ふつう」が2件で、「不満」との回答はなかったため、利用者の方にはほぼ満足していただいていることがわかる。 また、【音楽堂の利用回数】では、初めて音楽堂を利用したと回答したのは1件のみで、11件が2回目以降、うち5件は11回以上で、複数回の利用者が多いことが把握できる。また、【職員の対応】項目での回答は「満足」が11件、「ふつう」が1件で、コメントに「職員の方々が丁寧に対応されたことが印象に残っている」「様々な面でサポート頂き助かっている」といった意見をいただいております、施設管理者の対応が利用者から好評いただいていると認められる。

実施した調査の配付方法 用紙配布 回収数/配付数 12 / 18 = 66.7%

配付(サンプル)対象 施設利用者

	満足	ふつう	不満		合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	10	2	0		12	
回答率	83.3%	16.7%				
前年度の回答数	8	0	0		8	
回答率の対前年度比	83.3%	—				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営/管理委託 /指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
[参考] 年度計画	248,848	248,791	243,891	324,705	※「その他収入」として、事業収入、受託金収入、立替収入、補助金等収入、受取寄付金収入、雑収入、特定資産取崩収入がある。
指定管理料	177,136	176,175	176,157	181,192	
利用料	30,879	36,901	37,056	36,649	
その他収入	48,421	37,929	37,699	111,185	
合計	256,436	251,005	250,912	329,026	
対前年度比		97.9%	100.0%	131.1%	
対 計画比	103.0%	100.9%	102.9%	101.3%	
(2) 支出					
[参考] 年度計画	255,374	248,791	243,891	324,705	※「客席座面・背パット更新工事(一部)」等
支出額	256,389	251,001	250,897	329,015	
(納付金)					
対前年度比		97.9%	100.0%	131.1%	
対 計画比	100.4%	100.9%	102.9%	101.3%	
(3) 収支					
[参考] 年度計画	0	0	0	0	
収支差額	47	4	15	11	
対前年度比		8.5%	375.0%	73.3%	
収入合計／支出合計の比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管修繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
27年・3月	7,661	非常誘導灯用直流電源装置の整流器及び蓄電池更新工事(7,660,872円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 100万 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
2月1日	主催者控室の下窓のカーテンレールを椅子でぶつけ破損。	主催者の不注意。	主催者に弁償依頼。2月26日修理完了。事故を未然に防ぐため、利用者の館内での動きについて注意を喚起する。
2月8日	搬出時、正面玄関風除室の側面ガラスに楽器スタンドをぶつけ1枚破損。	主催者の不注意。	主催者に弁償依頼。ベニヤ板で応急処置。2月24日修理完了。事故を未然に防ぐため、搬入、搬出を含めて、利用者の館内での動きについて注意を喚起する。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。